

様式第4号（第5条関係）

政務活動費収支報告書

令和5年 4 月 5 日

盛岡市議会議長

竹田浩久様

議員氏名

中村亨

盛岡市議会政務活動費の交付に関する条例第5条第1項および第2項の規定により
令和4年度の政務活動費の収入及び支出について別紙のとおり報告します。



別紙

1 収支の状況

項 目		金 額	主な実施事業内容
収入	政務活動費 ①	600,000 円	
	調査研究費	円	
支 出	研修費	17,000 円	市政調査会拠出金
	広報費	583,000 円	議員活動報告印刷代・配布代
	広聴費	円	
	会議費	円	
	資料作成費	円	
	資料購入費	円	
	人件費	円	
	事務所費	円	
	支出合計 ②	600,000 円	/
	差引残余 ①-②	0 円	/

様式第 5 号

政務活動費出納簿

【令和 4 年度分】

(単位：円)

	内 容	収入額	支出額	政務活動費経費内訳											
				調査研究費	研修費	広報費	広聴費	会議費	資料作成費	資料購入費	人件費	事務所費			
R4. 4. 4	市議会議員活動報告 No. 3 1号配送費郵送料代 (743部)		57,265			57,265									
R4. 4. 8	政務活動費交付金	300,000													
R4. 7. 15	令和 4 年度市政調査会拠出金		7,000		7,000										
R4. 10. 7	政務活動費交付金	300,000													
R4. 10. 31	市議会議員活動報告 No. 3 2号印刷代 (7,000部)		178,640			178,640									
R4. 10. 31	市議会議員活動報告 No. 3 2号配送費ポスティング代 (4,400部)		31,460			31,460									
R4. 11. 4	市議会議員活動報告 No. 3 2号配送費郵送料代 (739部)		56,951			56,951									
R5. 1. 16	令和 4 年度市政調査会拠出金		10,000		10,000										
R5. 3. 23	市議会議員活動報告 No. 3 3号印刷代 (7,000部)		178,640			178,640									
R5. 3. 23	市議会議員活動報告 No. 3 2号配送費ポスティング代 (4,875部)		35,447			35,447									
R5. 3. 24	市議会議員活動報告 No. 3 2号配送費郵送料代 (725部)		44,597			44,597									
	経費小計				17,000	583,000									
	合計額	600,000	600,000	差引残余额								0			

政務活動費支出簿

使途項目	研修費
------	-----

支出年月日	支出金額	摘 要	備考
令和4年7月15日	7,000 円	令和4年度市政調査会拠出金(7月)	
令和5年1月16日	10,000 円	令和4年度市政調査会拠出金(令和5年1月)	
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
合計	17,000 円		

政務活動費支払伝票

使途項目	研修費	支出日	令和4年7月15日
------	-----	-----	-----------

支出証拠書類の額面金額	7,000	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)		
政務活動費支出金額	7,000	円

【支払概要】

令和4年度市政調査会拠出金

領収書等添付欄

別紙に添付

領 収 書

中 村 亨 様

一金 7,000円 也

令和4年度市政調査会拠出金として、上記のとおり受領しました。

令和4年7月15日

盛岡市市政調査会 会長 遠藤 政



政務活動費支払伝票

使途項目	研修費	支出日	令和5年1月16日
------	-----	-----	-----------

支出証拠書類の額面金額	10,000	円
支出按分率（※按分が必要な場合）		
政務活動費支出金額	10,000	円

【支払概要】

令和4年度市政調査会拠出金

領収書等添付欄

別紙に添付

領 収 書

中 村 亨 様

一金 10,000円 也

令和4年度市政調査会拠出金として、上記のとおり受領しました。

令和5年1月16日

盛岡市市政調査会 会長 遠藤 政 幸



政務活動費支出簿

使途項目	広報費		
支出年月日	支出金額	摘要	備考
令和4年4月4日	57,265 円	市議会議員活動報告No.3 1号郵送代 (743部)	
令和4年10月31日	178,640 円	市議会議員活動報告No.3 2号印刷代 (7,000部)	
令和4年10月31日	31,460 円	市議会議員活動報告No.3 2号配送費 ポストイング代 (4,400部)	
令和4年11月4日	56,951 円	市議会議員活動報告No.3 2号配送費 郵送料代 (739部)	
令和5年3月23日	178,640 円	市議会議員活動報告No.3 3号印刷代 (7,000部)	
令和5年3月23日	35,447 円	市議会議員活動報告No.3 3号配送費 ポストイング代 (4,875部)	
令和5年3月24日	44,597 円	市議会議員活動報告No.3 3号配送費 郵送料代 (725部)	
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
合計	583,000 円		

政務活動費支払伝票

使途項目	広報費	支出日	令和4年4月4日
------	-----	-----	----------

支出証拠書類の額面金額	57,265	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)		
政務活動費支出金額	57,265	円

【支払概要】

市議会議員活動報告No.3 1号郵送料代 (743部)

領収書等添付欄

別紙に添付

領 収 書

第 117598-24 号

おなまえ	中村 亨 様	<領収内訳>	<備考>						
受領金額	<table border="1"> <tr> <td>百万</td> <td>千</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>57</td> <td>265</td> </tr> </table> 円 内消費税額 円	百万	千	円		57	265	現金 57,265 円 小切手 円 切手 円 証紙 円 キャッシュレス決済 円 (決済ブランド名:)	
百万	千	円							
	57	265							

※ 金額欄を訂正しているものは無効です

お取引の内容	
郵便	切手・葉書・印紙・販売品の販売 郵便料金の収納 (別納 計器予納金 受取人払) (滞払 その他())
貯金	
保険	保険証券(書)の記号番号 払込期間及び払込月数 年 月期から 年 月期まで 年 月期から 年 月期まで 年 月期から 年 月期まで
物販等	店頭販売商品の販売 カタログ販売 その他()

上記の金額を、確かに領収いたしました。

取扱郵便局

盛岡飯岡

郵便局

4 年 4 月 4 日

電話番号

019-638-1711



日本郵便株式会社

(所在地: 東京都千代田区大手町2丁目3番1号)

取扱者氏名

※ 裏面の「ご注意」欄をご確認ください。

第 117598-24 号

「もっす通信」

2022年 中村 亨「もっす」通信:NO.31号

連絡先: 020-0853 盛岡市下飯岡3-22-1

TEL・FAX 019-658-0505

メールアドレス tohru.nk@gmail.com

ホームページ <http://nakamura-tohru.jp/>

中村とおる市議会議員活動報告

発行2022年3月



この議員活動報告「もっす」通信の作成や印刷等に関する経費は、政務活動費を充当させていただいております。

春は新入学、進学、就職など心弾む季節でもありますね。

新型コロナウイルス感染症も早期に収束し、社会活動が普通にできることを願っております。

今回の「もっす」通信は、3月定例会で一般質問した内容の一端を掲載させていただいております。

*いつも「もっす」通信をご覧いただきましてありがとうございます。

お困りごとや市政への要望・意見などがございましたら、お気軽にお寄せください。

「私の3月一般質問趣旨」をピックアップ

*市政運営について

【1】新型コロナウイルス感染症関連において、①同居家族が陽性判明した場合に自宅療養とせず宿泊療養としないと家庭内感染を防げないと思うが見解を。②支援者がいない自宅療養者への薬、生活必需品等への支援と対応状況。③パルスオキシメーターの保有台数と自宅療養者への貸与状況。④4月分、それ以降のワクチン配分量。⑤コロナ禍における公共交通の事業継続に向けた支援への考え。

【2】市職員からのアンケートによるカスタマーハラスメントの実態と分析において、①取りまとめ状況とその案件について。②受けたという認識・意識と対処方法や公表含めた今後の進め方。

【3】水循環基本法の一部改正による今後の取り組みへの考え。

【4】児童センター等の遊具の点検における基準に準じていない遊具の改良更新への対応。

*教育行政について

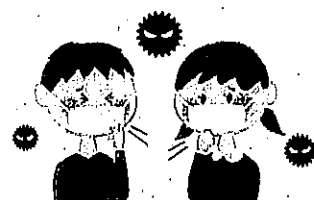
【1】GIGAスクール構想の現状と課題において、①校内LAN、デジタル教科書購入、電子黒板の配備状況。②子ども達のタブレットの操作や質問への対応が一部の教員に過剰な負担となっているのでは。③ICT支援員の配置。④GIGAスクール構想による教育格差が拡大する懸念。

【2】学校給食費の公会計化において、①この一年間の課題と精査をどのように行ったのか②実施時期について、目標年度を明らかにして条件整備をしていくべきと考えるが見解は？

新型コロナウイルス感染症関連

質問：同居陽性者が自宅療養となった場合に家庭内感染を防ごうと努力しても一般的にトイレや浴室が一つしかないという住環境の中で、特にも幼児がいる家庭では、子育てを行いながらの家庭内感染を防ぐことは、相当難しいのではと私は思います。やはり保護者のどちらかが検査キットなどで疑似陽性の反応が出た段階、PCR検査の結果が出る日数を考慮して、すぐに宿泊療養に切替えないと家庭内感染を防げないと思うわけですが、見解を伺います。

回答：家庭内は、トイレやお風呂など共有する部分もあり完全な感染予防は難しいものと存じますが、宿泊療養施設の確保数に限りがあることから、今後の感染者数も見据えながら家庭内感染のリスクを的確に評価し、宿泊療養か自宅療養を判断しているところであります。



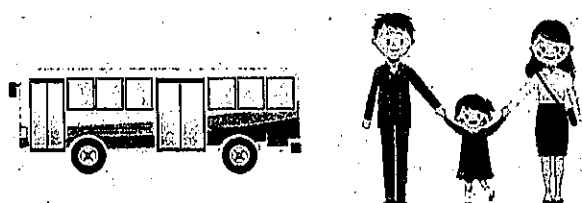
質問：3回目接種のワクチン配分量について4月分までとそれ以降についてどう示されているのか伺います。

回答：4月分までの接種に対応する配分量についてであります。5歳から11歳までの小児用ワクチンを除いた数値となりますが、ファイザー社ワクチンが10万9,344回分、武田/モデルナ社ワクチンが12万30回分となっており、2月21日に県から市町村別のワクチン配分量が示され、本市には、3月下旬から5月中旬までにファイザー社ワクチンが6万4,956回分、武田/モデルナ社ワクチンが5万6,190回分配分され、3回目接種分の合計では、25万434回分と接種対象者数である約22万3千人を超える配分となっております。

質問：新型コロナウイルス感染症の影響により、人流が回復しないことから市内におきましても鉄道・バス・タクシーの輸送人員は減少し、交通と観光の産業に携わる事業者への支援と拡充について伺います。



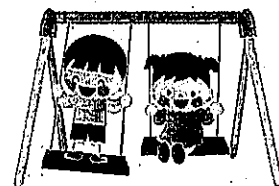
回答：コロナ禍における厳しい経営環境のなか、既存のサービスを維持することも困難な状況であると伺っております。市では令和2年度及び3年度に、事業継続に向けた支援金を支給しており、今後においても、必要な支援について検討してまいりたいと存じます。



児童センター等の遊具の点検と基準適合していない遊具への対応

質問：児童センター等の遊具の点検状況と基準に適合していない遊具の措置、その遊具の修繕や更新への対応について伺います。

回答：都市公園の遊戯施設と同様に年1回、指定管理者が、公園施設製品安全管理士を配置する事業者に委託して実施しておりますが、基準に適合していない遊具の措置については、異常があり、使用不可と指摘を受けた遊具については、市において速やかに「使用禁止」または「撤去」の措置を行っております。令和3年度に使用不可と指摘を受けた遊具24基の修繕や更新については、令和3年度中に12基について実施しており、令和4年度に9基について予定をしております。



GIGAスクール構想の現状と課題

質問：市内一斉オンライン授業など活用するための校内LANなどの環境整備とデジタル教科書購入や電子黒板の配備状況について伺います。

回答：校内LANについては、現在、全ての普通教室に整備しておりますが、特別教室や体育館につきましても、今後、整備に努めてまいります。また、オンライン授業に関わる家庭の通信環境整備等につきましても検討してまいります。次にデジタル教科書については、文部科学省の「学びの保障・充実のための学習者用デジタル教科書実証事業」により令和3年度で市内32の小中学校に対して1教科または2教科分が配布され、4年度は全ての小中学校へ英語の学習者用のデジタル教科書が配布される予定であり、希望する学校に対しては、さらに、1教科2教科分が配布される予定であります。電子黒板の配備については、3年度に市内小学校5・6年生と中学校全学年の普通教室に配備しており、4年度はさらに電子黒板の配備を進めてまいります。

質問：GIGAスクール構想による教育格差はむしろ拡大する懸念があるのではないのでしょうか。現に子ども達の家での端末利用環境や各種のコンテンツ利用の格差は現実に存在していると思いますし、学校でのICT活用の環境整備の状況によって自治体間での格差も生じてくると思います。こうした懸念にどう対応されて行こうと考えておりますでしょうか伺います。

回答：家庭間格差及び自治体間格差が生じることのないよう、ICT活用の環境整備を進めることは、重要な課題であると捉えておりますので、引き続きその整備に努めてまいります。



学校給食費の公会計化の実施時期

質問：学校給食費の公会計化について、実施時期または目標年度を明らかにし、条件整備をしていくべきと考えますが見解を伺います。

回答：公会計化に向けて情報収集や学校等現場の状況把握を行った結果、公会計化は、教職員の負担軽減や保護者の利便性の向上や公平性の確保、学校給食費の徴収管理の効率化と透明性の確保に繋がることを改めて確認いたしました。実施時期については令和4年度には、給食費の納付方法や管理、食材調達業者との協議・調整を図りながら、会計処理システムの導入費と仕様の決定を行い、5年度には会計処理システム導入とテスト運用を行うとともに、学校給食費を決定する組織の設置や学校や保護者、食材調達業者への説明を行い、6年度にはまずは共同調理場で公会計を実施できるように条件整備をしてまいります。



盛岡市の主な生活・経済対策について「22事業の内4事業を紹介」

◎プレミアム付商品券発行事業【地域内消費喚起事業】発行総額：6億円（電子商品券4億8千万円、カード商品券1億2千万円）商品券仕様：1セット12,000円相当を10,000円で販売【MORIOペイキャンペーン】電子商品券の決済金額に応じ、地域共通MORIO-Payポイントを付与【リフォーム支援事業】税抜き300,000円以上のリフォーム工事を行う市民に対し、60,000円分の商品券（電子又はカード）を支給。時期（予定）令和4年6月◎プレミアム付き応援チケット事業：飲食店や宿泊事業者を対象に、盛岡商工会議所がプレミアム付き応援チケット「モリオ☆エール」（額面2,500円分を2,000円で販売）を作成し、事業に参加を希望する事業者には200セット配付し、事業者がチケットを販売する。また、プレミアム分100,000円（25%相当）をチケットとともに事前に事業者現金で配付する。なお、チケット購入者の中から抽選で市特産品等をプレゼントするキャンペーンを併せて実施する。時期（予定）令和4年6月◎盛岡の宿応援割事業：市内宿泊施設を利用した際の宿泊料の一部を、宿泊施設事業者に対して1泊1人あたり、2,000円（国、県が実施する他の宿泊割引との併用可）補助する。割引の対象は東北6県とし、感染状況等に応じて県民のみの限定や全国への拡充も検討する。時期（予定）令和4年5月以降、5か月間（補助額の上限に達した宿泊施設は随時終了）◎公共交通利用促進対策事業：路線バス：市内を運行する路線バス事業者1事業者300,000円に市内を運行しているバス1台あたり60,000円を加算した額、タクシー：市内に営業所があるタクシー事業者及び個人タクシー事業者に対し保有台数1台あたり5,000円を補助。時期（予定）令和4年6月末（申請期限）


様式第7号

政務活動費支払伝票

使途項目	広報費	支出日	令和4年10月31日
------	-----	-----	------------

支出証拠書類の額面金額	178,640	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)		
政務活動費支出金額	178,640	円
【支払概要】		
市議会議員活動報告No.32号印刷代 (7,000部)		

領収書等添付欄	<input type="checkbox"/> 別紙に添付
---------	--------------------------------



No. 000494

領 収 証

中 村 亨 殿

令和 年 月 日
4.10.31

¥ 178,640-

但し 印刷物代金 162,400

消費税額 16,240

市議会議員活動報告 No.32号
7,000部



上記の金額正に領収致しました。

盛岡市羽根町30番地10
株式会社 富屋印刷
代表取締役 藤 芳
電話 637-639

扱者印

政務活動費支払伝票

使途項目	広報費	支出日	令和4年10月31日
------	-----	-----	------------

支出証拠書類の額面金額	31,460	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)		
政務活動費支出金額	31,460	円

【支払概要】

市議会議員活動報告No.3 2号配送費ポスティング代 (4,400部)

領収書等添付欄

別紙に添付

領 収 証

No. 032079

2022年10月31日

中村 亨 様

金額 ¥ 31,460-

収入印紙

上記の通り正に領収致しました。

但 株式会社通信32号
ポスティング代とLT

内 訳 ①6.5x4400部
環 送
小 切 手

消費税額等(10%)



株式会社 アオバヤ アドポス事業

- 函館センター T041-0824 函館市西栢町589-55
- 盛岡センター T020-0866 盛岡市門2-9-48
- 山形センター T990-0813 山形市松町3-8-34
- 米沢センター T992-0021 米沢市大字花沢257-2
- 仙台センター T981-3121 仙台市泉区上谷刈2-7-7
- 仙台南センター T981-1224 名取市増田字柳田240 101
- 大崎センター T989-8223 大崎市古川青塚211-1-1
- 福島センター T960-8165 福島市南中央2-35-1
- 郡山センター T963-0107 郡山市安積3-120
- いわきセンター T970-8022 いわき市平塚字園内71-1
- 宇都宮センター T921-0932 宇都宮市平塚本町362-6 101号
- 水戸センター T930-0913 水戸市見川町2131-150
- 新潟センター T950-0853 新潟市東区東明2-4-4
- 前橋センター T879-2153 前橋市上大島町121-3
- 明光センター T272-0143 千葉県市川市祖之川3-2-13
- 江戸川センター T132-0003 東京都江戸川区豊江町2-43-8

- tel.0138-49-1055
- tel.019-823-3571
- tel.023-682-8075
- tel.0120-311-5621
- tel.022-371-1509
- tel.022-383-1282
- tel.0120-311-502
- tel.024-525-6004
- tel.024-937-8955
- tel.0246-35-6033
- tel.028-610-1537
- tel.023-244-0352
- tel.025-237-1153
- tel.027-261-8558
- tel.047-396-2219
- tel.03-5636-5081



担当署印

※金額を訂正したものの扱印のないものは無効です。

政務活動費支払伝票

使途項目	広報費	支出日	令和4年11月4日
------	-----	-----	-----------

支出証拠書類の額面金額	56,951	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)		
政務活動費支出金額	56,951	円
【支払概要】		
市議会議員活動報告No.3 2号配送費郵送料代 (739部)		

領収書等添付欄	<input type="checkbox"/> 別紙に添付
---------	--------------------------------

領収書

第 117598-28 号

おなまえ	中村 亨 様	<領収内訳>	<備考>						
受領金額	<table border="1"> <tr> <td>百万</td> <td>千</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>56</td> <td>951</td> </tr> </table>	百万	千	円		56	951	現金 56,951 円 小切手 円 切手 円 証紙 円 キャッシュレス決済 円 (決済ブランド名:)	
百万	千	円							
	56	951							
※ 金額欄を訂正しているものは無効です									

お取引の内容	
郵便	切手・葉書・印紙・販売品の販売 郵便料金の取納 (別紙) 計器予納金 受取人払 (酒払) その他()
貯金	区内特別 (@ 28 円) × 471 (枚・個・通・件) 定形 (@ 84 円) × 267 (枚・個・通・件) 定形外 (@ 140 円) × 1 (枚・個・通・件) (@ 円) × (枚・個・通・件) (@ 円) × (枚・個・通・件)
保険	保険証券(書)の記号番号 払込期間及び払込月数 年 月期から 年 月期まで 年 か月分 年 月期から 年 月期まで 年 か月分
物販等	店頭販売商品の販売 カタログ販売 その他() (申込番号)

上記の金額を、確かに領収いたしました。

取扱郵便局 盛岡飯岡 郵便局

4 年 11 月 4 日

電話番号 019-638-1711

日本郵便株式会社

(所在地: 東京都千代田区大手町2丁目3番1号)

取扱者氏名



「もっす通信」

2022年中村 亨「もっす」通信:NO.32号

連絡先: 020-0853 盛岡市下飯岡3-22-1

TEL・FAX 019-658-0505

メールアドレス tohru.nk@gmail.com

ホームページ <http://nakamura-tohru.jp/>

中村とおる市議会議員活動報告 発行2022年11月



この議員活動報告「もっす」通信の作成や印刷等に関する経費は、政務活動費を充当させていただいております。

季節は初冬に入って参りましたが、現在のエネルギー事情や物価高に対する支援策を国や地方自治体がしっかり取り組む必要があると思っております。さて、今回の「もっす」通信は、9月定例会で私が一般質問した内容の一端を掲載させていただきます。

*「もっす」通信をご覧頂きましてありがとうございます。お困りごとや市政への要望・意見などがございましたら、お気軽にお寄せください。

「私の9月一般質問趣旨」をピックアップ

* 市政運営について

【1】新型コロナウイルス感染症関連

・感染者への対応状況と業務実態については？ ・感染対策業務の効率化を図る上でのシステム作業や業務内容の見直しは？
・感染拡大によって影響を受けている事業者の声や苦境に立っている業種の状況把握は？ ・新たな支援策を講じることについては？

【2】少子化対策と子育て支援

・少子化対策に関し、現状をどのように感じているのか、また、施策上での課題については？ ・22年度出生数予測や過去3年間の出生数比較と合計特殊率の変化、また、その結果をどう受け止めているのか？ ・異次元的な子育て支援策を検討する時期に来ていると感じているが市としての見解は？

【3】第2期みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョンでの圏域内の人の流れをつなぐ施策

・盛岡広域の各施設使用料の統一により、圏域住民が一つである環境を作るべきでは？

【4】物価高騰による市政への影響

・資材高騰による公共施設の大規模改修への影響は？
・今後、補正予算を含めた財政措置への考えは？

* 教育行政について

【5】英語教育環境の充実

・英語教師（海外経験のある）や外国語指導助手の配属状況は？ ・今後の英語教師等の配属を含めた環境整備は？
・2024年度の英語デジタル教科書導入に向けた、端末の家庭への持ち帰りは？

新型コロナウイルス感染症関連

質問：この間、新型コロナウイルス感染症による感染状況においては、市民生活や市内経済への影響を捉えながら、盛岡市としても経済対策を第1弾から第7弾までを打ち出してこられたことは、承知のところでもあります。2年以上のコロナ禍、第7波による感染者が拡大をしている状況の中、社会活動に対する行動制限が緩和され、業績が回復している業種がある一方、苦境に立っている業種もまだまだ沢山あるように感じるわけですが、盛岡市の関係部署として、こういった声や苦境に立っている業種の状況について、現段階でどのように把握されていますか。

回答：事業者を対象とした定期的なウェブアンケートや製造業や飲食店などへの対面調査のほか、業界団体の会合などにおいて事業者の生の声を伺うことで、各業種のコロナ禍における状況の把握に努めています。アンケート調査などの結果から、感染拡大期において、宿泊業・飲食サービス業は、特に影響を受けやすく、感染症が急拡大した7月以降、先行きの不透明感がましているものと存じております。このことに加えて、感染症対策としての座席制限や、大人数、長時間の会食機会の減少などにより、飲食店事業者からは、コロナ禍以前の売り上げ水準まで回復する見通しが立てられず、依然厳しい経営環境に置かれているとの声も伺っております。

質問：やはり、コロナ禍の中で客離れに苦しんでいる業種に対して、以前、盛岡市で取り組みました経済対策の中での、地域企業家賃補助事業補助金の再度の実施を図るか、このように新型コロナウイルス感染症に起因し、苦境に立っている業種に対して新たなる支援策を検討し、講じるべきと考えますが、見解を伺います。

回答：新たな支援策については、これまでプレミアム付き電子商品券やプレミアム付き応援チケットの販売支援、「盛岡の宿」応援割の実施により注意喚起を通じた事業者支援を行っているところであります。いずれの事業者も12月までに終了予定であります。宿泊業・飲食サービス業においては、事業継続支援や消費喚起策に対する期待が大きいところから、事業者の声を伺いながら、感染拡大や社会経済の状況に応じた支援策を検討してまいりたいと存じます。



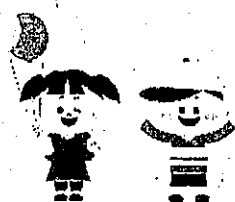
少子化対策と子育て支援について

質問：少子化の加速が止まらない状況が続いており、2000年には約119万人の出生数でありましたが、2020年には約84万人まで低下し、2021年は約81万人、2022年度中には80万人を割るのではとも言われています。このような状況において、盛岡市の22年度出生数予測や過去3年間の出生数比較と合計特殊出生率の数値はどのように変化しているのか、また、その数値結果をどう受け止められているのでしょうか。

回答：2022年度の出生数予測については、1,926人と見込んでいるところであり、過去3年間の出生数の比較と合計特殊出生率の変化については、県により公表されている人口動態統計において、出生数は、平成30年の2,076人に対して、令和元年は、前年比72人減の2,004人、令和2年は、前年比131人減の1,873人であり、3年間で10%減少しており、合計特殊出生率については、平成30年は、1.29人、令和元年、2年ともに1.28人となっております。本市におきましても国と同様に出生数や合計特殊出生率の低下傾向が続いている状況でありますことから、少子化対策の一層の充実、強化を図っていく必要があるものと認識しております。

質問：少子化は結婚や出産だけの問題ではなく様々な要因があると思われ、子どもを産み育てる環境づくりのためには、生活の安定、収入の安定、雇用の創出や商工業・サービス業の振興、男女共同参画の推進など多くの分野が総合的に充実されなければならないと思います。合計特殊出生率が「2」以上でないと人口は維持できないわけですから、合計特殊出生率を上げていくためには、更なる子育て支援の充実を図る必要があるのではないのでしょうか。更なる子育て中の保護者負担の軽減を図ることで、例えば幼稚園、保育園などの副食費の軽減、無償化に移行しつつ、その後には小中学校給食費の無償化に取り組むなど長期的な施策や、現状の児童手当のほかに、出産直後に一括で支給する異次元的な特別出産手当（累進型）の創設など、財源のこともありますが、盛岡市として新たな子育て支援策についての見解を伺います。

回答：国の少子化社会対策白書によれば、夫婦による理想的な子どもの数は低下傾向にあり、その理由として、「子育てや教育の経済負担が大きいこと」が最も多い割合となっております。議員ご提案の副食費等の無償化や特別出産手当等の経済的支援は、子育て支援策として一定の効果があるものと存じます。しかしながら、継続的に多額の財源が必要となるため、現時点での導入は難しい状況ですが、子どもは社会の希望であり、社会の担い手を育成するための重要な未来への投資でありますことから、「子育てにやさしいまち盛岡」の実現に向けて今後とも子育て支援策の充実に全力で取り組んでまいります。



盛岡広域圏域内の各施設の使用料の統一について

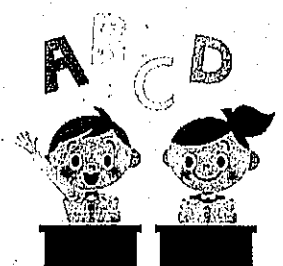
質問：圏域内には教育、文化、健康・保養（日帰り温泉）、スポーツ等様々な施設がありますが、圏域内の人の交わり、人の流れをつなぐために、市町の境を越えた新たなるつながりを生み出すことも必要と思います。そこで、圏域内の様々な施設を利用する際、使用料や入場料等について地元住民と地元外住民とで差を設けている施設を調査して頂いて、ぜひ、圏域内住民が、一律の金額で利用できるようにしていただきたいのですが、見解を伺います。

回答：「盛岡広域首長懇談会事務検討会議」に施設共同利用専門部会を設置し、検討を進めてきたところです。部会では、居住地の違いによる料金の差を統一することで広域利用は促進されるものの、従来からの利用者が使いづらくなる可能性や、施設を集約して減らすことになると利用者によっては施設が遠方となり、利便性が低下するなど住民合意形成を得るために大きな課題があることから、現時点での料金統一は、難しいとの結論に至ったところであります。今後も検討部会の検討を継続し、圏域内施設の情報を公開するなどより良い施設の利用や保有のあり方を追求してまいります。

英語教育環境の充実について

質問：グローバル化社会の進展により、益々、世界的共通語としての英語の習得は、子どもたちにとっても非常に重要なことであり、また、英語は日本語にはない音が多いので、発音の習得は必須であり、正確に伝える・聞き取るためには、やはり発音は大切だと感じます。自信を持って英語を使うためにも、発音の訓練は有効ですが、現在の教師の配置状況では、きめ細やかに指導するのは難しい状況ではと感じます。現在の市立小中学校における英語教師（海外経験のある）や外国語指導助手の配置状況と2024年度の英語のデジタル教科書の導入に向けて、端末の家庭への持ち帰りなど、今後の対応について伺います。

回答：中学校の英語教師は23校に69名配置されており、そのうち海外在住や研修の経験のある人数を詳細には把握しておりません。小学校は、基本的に学級担任が、外国語活動や外国語科の授業を受け持っておりますが、県からは専科教員5名が10校に配置されており、外国語指導助手は10名の外国人を採用し、全ての市立小中学校に派遣しております。学習用端末については10月に家庭への持ち帰りを試験的に実施し、課題を把握しながら、家庭学習等でも活用できるようにしてまいります。



様式第7号

政務活動費支払伝票

使途項目	広報費	支出日	令和5年3月23日
------	-----	-----	-----------

支出証拠書類の額面金額	178,640	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)		
政務活動費支出金額	178,640	円

【支払概要】

市議会議員活動報告No.33号印刷代 (7,000部)

領収書等添付欄

別紙に添付



領 収 証

No. 000957

中村 亨 殿

令和5年3月23日

178,640-

但し 印刷物代金 162,400

消費税額 16,240

市議会議員活動報告 No.33号
7,000部



上記の金額正に領収致しました。

盛岡市羽場19番地30番地10

株式会社 富 士 屋 印 刷 所

代表取締役社長 芳

TEL 019-657-639

扱
者
印

様式第7号

政務活動費支払伝票

使途項目	広報費	支出日	令和5年3月23日
------	-----	-----	-----------

支出証拠書類の額面金額	35,447	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)		
政務活動費支出金額	35,447	円

【支払概要】

市議会議員活動報告No.3 3号配送費ポスティング代 (4,875部)

領収書等添付欄

別紙に添付

領 収 証

No. 032902

2023年3月23日

中村 亨

様

金額

¥35,447

収入印紙

上記の通り正に領収致しました。

但 「住す」通信33号

但

R5.3/28.4/のポスティング代として

内 訳 @6.5×4337部

見 金 @7.5×538部

小 切 手

消費税額等(10%)

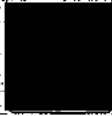


株式会社 アオバヤ アドポス事業

- 国府センター 〒041-0824 函館市西栢便町589-55 tel.0138-49-1065
- 国府センター 〒020-0866 盛岡市門2-9-48 tel.019-623-3571
- 山形センター 〒990-0813 山形市松町3-8-34 tel.023-662-8678
- 米沢センター 〒992-0021 米沢市大字花沢257-2 tel.0120-311-6621
- 仙台センター 〒981-3121 仙台市泉区上谷刈2-7-7 tel.022-371-1160
- 仙台南センター 〒981-1224 名取市増田字柳田240-101 tel.022-383-1282
- 大崎センター 〒989-6223 大崎市古川青塚211-1-1 tel.0120-311-602
- 福島センター 〒980-8185 福島市南中央2-35-1 tel.024-525-5004
- 郡山センター 〒983-0107 郡山市安積3-120 tel.024-937-5955
- いわきセンター 〒970-8022 いわき市平塚字園内71-1 tel.0246-35-6039
- 宇都宮センター 〒321-0932 宇都宮市平松本町362-6 101号 tel.028-610-1537
- 水戸センター 〒310-0913 水戸市見川町2131-150 tel.029-244-0352
- 新潟センター 〒950-0853 新潟市東区東明2-4-4 tel.025-267-1153
- 前橋センター 〒379-2153 前橋市上大塚町121-3 tel.027-261-6568
- 明光センター 〒272-0143 千葉県市川市相之川13-2-13 tel.047-396-2219
- 江戸川センター 〒132-0003 東京都江戸川区菅正町2-43-8 tel.03-5636-5081



担当者印



*金額を訂正したものの捺印のないものは無効です。

政務活動費支払伝票

使途項目	広報費	支出日	令和5年3月24日
------	-----	-----	-----------

支出証拠書類の額面金額	55,807	円
支出按分率 (※按分が必要な場合)		
政務活動費支出金額	44,597	円
【支払概要】		
市議会議員活動報告No.33号配送費郵送料代 (725部)		

領収書等添付欄	<input type="checkbox"/> 別紙に添付
---------	--------------------------------

領 収 書

第 117599-02 号

おなまえ	中村 亨 様	<領収内訳>	<備考>
受領金額	¥55,807 円	現金 55,807 円	
	内消費税額 円	小切手 円	
※金額欄を訂正しているものは無効です		切手 円	
		郵便紙 円	
		キャッシュレス決済 円	
		決済ブランド名: 円	

お取引の内容	
郵便	切手・葉書・印紙・販売品の販売 郵便料金の収納 区内特別 (◎ 73 円) × 463 (枚・個・通・件) 定形 (◎ 84 円) × 262 (枚・個・通・件) (別納) 計器予納金 受取人払 () (着払) その他()
貯金	
保険	保険料の払込み 保険証券(書)の記号番号 払込期間及び払込月数 年 月期から 年 月期まで 年 月分 年 月期から 年 月期まで 年 月分
物販等	店頭販売商品の販売 カタログ販売 その他() (申込書番号)

上記の金額を、確かに領収いたしました。

5 年 3 月 24 日

取扱郵便局 盛岡飯岡 郵便局

電話番号 019-638-1711

日本郵便株式会社

(所在地: 東京都千代田区大手町2丁目3番1号)

取扱者氏名



※ 裏面の「ご注意」欄をご確認ください。

第 117599-02 号

「もっす通信」

2023年中村 亨「もっす」通信:NO.33号

連絡先: 020-0853 盛岡市下飯岡3-22-1

TEL・FAX 019-658-0505

メールアドレス tohru.nk@gmail.com

ホームページ <http://nakamura-tohru.jp/>

中村とおる市議会議員活動報告

発行2023年3月発行



この議員活動報告「もっす」通信の作成や印刷等に関する経費は、政務活動費を充当させていただいております。

*「もっす」通信をご覧いただきありがとうございます。

お困りごとや市政への要望・意見などがございましたら、お気軽にお寄せください。

春の暖かさとは真逆に各種商品の値上ラッシュや物価高で家計は一層厳しくなっていますね。今回の「もっす」通信は、12月定例会で私が一般質問した内容と3月定例会で会派代表質問を行った内容の一端を掲載致しました。

【12月一般質問をピックアップ】

* 市政運営について

- ・物価高騰に対する支援策
- ・みどりの食料システム法施行にともなう課題、問題点
- ・農政の実態と展望
- ・市街化調整区域の今後の振興と地域環境保持
- ・民間保育施設等の保育士の処遇改善の実態
- ・部活の地域移行への課題

【3月会派代表質問をピックアップ】

- ・新型コロナウイルス感染症が5類となった場合の市の医療体制
- ・今後の市道や歩道への融雪装置の整備方針
- ・ニューヨークタイムズ紙「2023年に行くべき52か所」掲載で盛岡市の選定報道への対応とインバウンド観光への多言語対応整備

- ・公共交通事業者に対する県と同調した更なる支援策
- ・農畜産業への肥料、配合飼料高騰への更なる支援策
- ・賃上げに向けた中小零細企業への支援策
- ・指定管理者への一般管理費の増額と公契約条例独自制定の考え
- ・東京で開催した盛岡広域企業立地セミナーでの首都圏企業の反応
- ・行政DX取り組み状況と今後の行程
- ・いわて盛岡ボールパーク活用と地域経済喚起
- ・民間保育園の閉鎖等が出た場合の公立保育所存続の考え
- ・会計年度任用職員の待遇改善
- ・上下水道事業におけるDX推進と水源涵養林の周知策

* 教育行政について

- ・卒業式や入学式でのマスク対応方針
- ・インクルーシブ教育の方針と教育活動
- ・いじめ行為で警察に相談が必要と判断する基準
- ・スマートフォン以外の機器利用対策とメタバースへの対応と教育方針
- ・学校給食を通じた環境への配慮や持続可能な食育の実施
- ・生涯学習の推進での夜間中学の設置の考え

2023年3月定例会 会派代表質問より

5月8日以降の新型コロナウイルス感染症の医療体制について質問

指定以外の医療機関で診察・診療が可能になるのでしょうか。また、医療体制についての医師会との連携についてどう取り組んでいかれるのか伺います。

回答：「入院や外来の取り扱いについては、原則として、インフルエンザなど他の疾病と同様となることから、幅広い医療機関で新型コロナウイルス感染症の患者が受診できる医療体制に向けて、必要となる感染対策や準備を講じつつ国民の安心を確保しながら段階的な移行を目指す」こととしており、今後、国から示される具体的な方針に伴い、課題を検討しながら、幅広い医療機関による医療体制に移行できるよう県及び医師会と連携して進めてまいります。

市道や歩道の融雪装置の整備方針について質問

今後、冬期間の安全確保の観点から市道や歩道への融雪装置の設置区間を計画的に延長整備していくべきと考えますが、今後の整備方針に関して伺います。

回答：車道については雪寒道路指定を受けている路線の内、交通量が多い交差点部に取り付く危険な坂道、歩道においては、中心市街地における歩行者ネットワークを考慮した路線、更に橋梁歩道部については、長寿命化修繕工事と併せ、冬期間の交通安全確保のための整備を進めてまいります。



ニューヨーク・タイムズ紙「2023年に行くべき52カ所」の一つに盛岡市が選ばれて、旅行者への受入態勢の整備について質問

受入態勢の整備に関して、これを契機にICT等を活用した多言語対応等による観光案内所やデジタルサイネージ等の案内板の設置、スマートフォンを通じたトータルでの多言語情報提供体制整備など、インバウンド観光に対応するための予算化を図ることも必要と考えますが、見解を伺います。

回答：インバウンド観光に対応するための受入整備については、盛岡北口への多言語対応可能なタブレットを配備した臨時観光案内所や新幹線南、北改札口から観光案内所への誘導案内板の設置、令和4年10月から運用開始した7か国語対応のデジタルマップ「もりおかノスタルジックトリップまち歩きマップ」の掲載店舗数の拡充などについて、現在検討を進めております。



公共交通事業者や農畜産業への更なる支援について質問

市では令和2年度から4年度までコロナ禍での公共交通事業者に対して地方創生臨時交付金を活用して支援を行ってきました。また、農畜産業における肥料及び飼料の高騰に対する支援として、令和4年度内に「肥料等高騰対策支援金」を交付しておりますが、今回の県の動きに同調して、更なる支援に関しての考えを伺います。

回答：新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の減に燃料費の高騰が重なり、厳しい状況が続いていると伺っておりますので、更なる支援策について検討してまいりたい。肥料や配合飼料については、市を含め国、県においても様々な価格高騰対策を講じてきたものの、生産資材等の価格の高止まり状況にあり、生産者が営農を断念することが無いよう、国、県の施策の状況と価格動向を注視し、必要な支援を講じたいと存じます。



中小零細企業が賃上げを行うための支援について質問

国としても賃上げを経済界へ促すのであれば、中小零細企業には公的な支援が必要だと考えますし、市としても地場中小への支援について、どのような施策を考えておられるのか伺います。

回答：中小零細企業の賃上げが進まない理由のひとつに、原材料費などの価格上昇分を適正に価格に転嫁できないため、収益の確保が困難となっていると認識しており、市としては、労働生産性、企業収益の向上に繋がるデジタル化等の取り組みを支援するとともに、企業サポート専門員による経営相談を強化してまいります。また、物価上昇の影響を受けている従業員を守るため、賃上げを行っていただくよう関係機関・商工関係団体と連携し、国などが実施している支援策を効果的に活用いただけるよう取り組んでまいりたいと存じます。

公立保育所の存続・民営化実施計画の凍結について質問

民間保育所の閉園時の対応として公立保育所の必要性が増していると思います。民営化実施計画を凍結し、市の基幹保育として公立保育所を存続させる考えについて伺います。

回答：保育所等の急な閉園は園児や家庭への影響が大きいことから、やむを得ず転園が必要となる場合には、保護者の希望や安定した保育環境の確保を第一と考え、市、公立保育所、私立保育所が連携してまいりたいと存じます。また、本市はこれまで、民間保育所の持つ機動性や柔軟性を生かして、多様な保育サービスを提供するため、公立保育所の民営化を進めてきたところであり、今後も保護者からのご意見に耳を傾け、民営化により生み出された財源を活用し、子育て施策の更なる充実を図ってまいりたいと存じます。



いじめ行為で警察に相談する判断基準について質問

令和5年2月7日に文科省が全国の教育委員会等に「いじめ問題への的確な対応に向けた警察との連携等の徹底について」通知されたとの報道がありました。この通知を受け、教育委員会や各学校において、警察に相談が必要と判断するための基準を踏まえ、教員だけでなく児童生徒や保護者にも、いじめの例と該当する可能性がある罪名を周知啓発することで、いじめの未然防止、早期発見・早期対応に繋がるのではと考えますが、今後の取り組みについて併せて伺います。

回答：文部科学省通知では、暴行や傷害、強制わいせつ、恐喝、脅迫など、犯罪行為として取り扱われるべきいじめ等と示されております。通知を踏まえた今後の取り組みについては、議員ご指摘の通り、児童・生徒や保護者にも、あらかじめ、警察に相談・通報するいじめ例と、該当する罪名を周知啓発することは、いじめの未然防止、早期発見・早期対応に繋がるものと存じます。市教育委員会としましては、各学校に対して、犯罪行為として取り扱われるべきいじめになどは、警察に相談・通報を行い、適切な援助を求めることを保護者等に対しても周知するよう通知したところであります。

メタバースに関して、今後どうしていくのか質問

児童生徒は様々な情報機器を利用していると思われ、メタバース空間で過ごす時間が増加するという予測もありますが、メタバースに関して、今後どう教育をされていかれるのか伺います。



回答：不登校の児童生徒の居場所・学び作りの場づくりとしてメタバースを活用した支援に取り組んでいる他県の事例もありますので、情報収集、メタバースの社会への普及や児童生徒の心身への影響などについて調査研究してまいります。

夜間中学の設置について質問

令和4年6月1日に文部科学省から夜間中学の設置・充実に向けた取組の一層の推進について（依頼）の通知が市の教育委員会にあったことと思います。義務教育を修了しないまま学齢期を経過した方や、不登校など様々な事情により十分な教育を受けられなかった方、外国籍の方などが再び学ぶ場として、夜間中学がますます重要な役割を果たし、その期待も高まってくると考えますが、夜間中学設置する考えについて伺います。

回答：令和5年1月から岩手県教育委員会が市町村教育委員会とともにに行っている「夜間中学についてのアンケート調査」について、今後、県と連携しながら、その内容を分析し、市民の潜在的ニーズを把握するとともに、教育機会の確保に向けて取り組んでまいりたいと存じます。

